

日本：貿易統計（2017年12月）

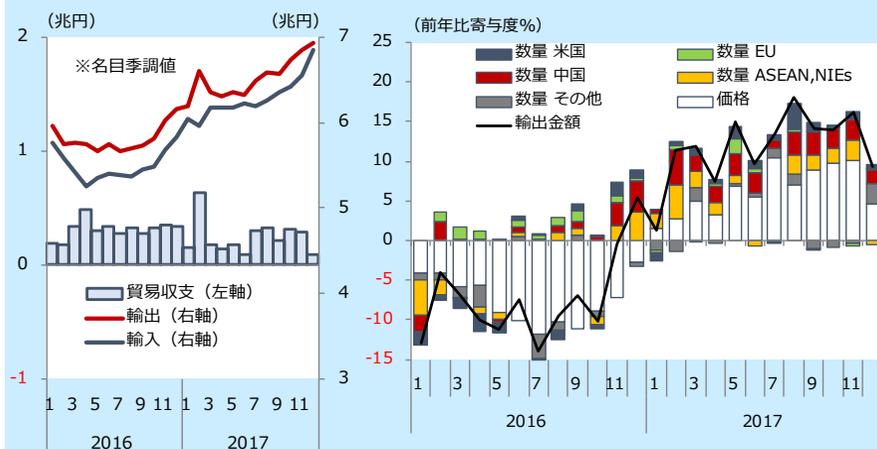
— 中国経済の好調等を背景に輸出は拡大基調 —

MRI Daily Economic Points

January 26, 2018

貿易収支

輸出額の寄与度分解



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

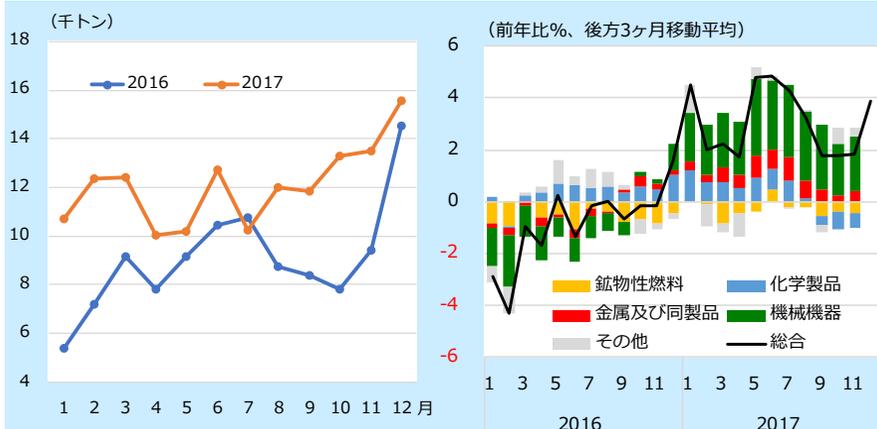
評価ポイント

2017年12月の結果

- 17年12月の貿易統計は、輸出金額が前年比+9.3%と13ヶ月連続で増加。輸入金額も同+14.9%となり12ヶ月連続で増加となった。貿易収支の季調値は+868億円と前月比▲70.0%と大幅に減少したが、26ヶ月連続で黒字を維持。なお年間では輸出金額が前年比+11.8%と2年ぶりに増加。半導体等製造装置(同+31.9%)、自動車(+4.3%)、鉄鋼(+15.5%)等が大きく寄与し、中国および中国を含むアジア向けの輸出金額は過去最大となった。
- 輸出価格上昇の影響を除いた輸出数量の伸びは、前年比+4.5%と11ヶ月連続でプラス。国別の寄与度では中国が大きい。中国の17年10-12月の実質成長率は前年比+6.8%と堅調を維持しており、日本からの輸出も化学製品、鉄鋼、半導体関連、自動車など幅広い品目で増加した。
- アジア向け半導体等製造装置の輸出数量は前年比+7.3%と、伸びは前月(同+43.5%)から大きく鈍化。しかし、16年12月の輸出が高水準であった影響が大きく、今回はそれを上回る水準に達している。国別にみると中国向けの増加が大きい(同+29.0%)。中国では大規模な半導体工場の立ち上げが続いており、今後も半導体製造装置に対する需要増が見込まれる。
- 輸入数量は前年比+5.9%と3ヶ月連続で増加。中国およびASEANからの通信機(スマートフォン等)の輸入が急増している影響が大きい。

アジア向け半導体等製造装置輸出

品目別の輸入数量



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

基調判断と今後の流れ

- 輸出は、堅調な世界経済を背景に、拡大基調にある。
- 先行きの輸出は、引き続き緩やかな拡大を予測する。半導体関連需要は伸びが鈍化すると予想されるが、中国での半導体製造装置需要の増加等を背景に、高い水準を維持する見込み。一方、米国トランプ政権が18年の中間選挙に向けて保護主義姿勢を強める可能性があり、日本の自動車輸出等に影響が及ぶリスクに注意する必要がある。